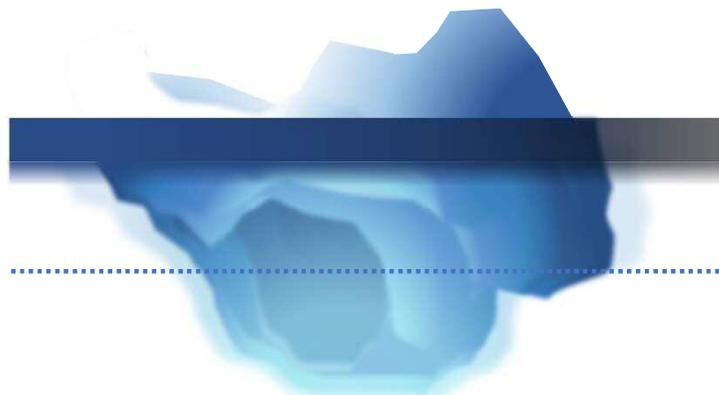


1. 「仕組み」におけるツールの位置付けについて

- ツールは、意見・意向表明のためのハードルを下げるなどの意味においては有効な手段のひとつである。
- 目的によっては、事前に必要な情報提供・情報共有を行った上でツールを利用する必要がある。

(1) ツールに関する各委員からのご意見

- 「意見・意向表明のためのハードルを下げる」「スピーディーに大まかな傾向をつかむ」という意味では、意向把握の有効な手段のひとつ
- 一方で、政策全体の理解を過度に単純化してしまうと、恣意的、作為的にもなりかねないので留意が必要
- 最終的な物事を判断することを目的とした意向把握のためには、事前に施策等に関する必要な情報提供・情報共有を行った上でツールを利用すべき
- 市民のあらゆる層から多くの意見・意向を表明してもらうには、目的に応じて手法を吟味しなければならない
- 意見表明が「したくなる」工夫が必要
- サイレントマジョリティ層を分類し、それぞれ有効なアプローチ方法を考えることも必要ではないか



①意見はあるが表明しない層？

②何らかの理由で全く無関心な層？

(2) ツールの位置付け

ツールは有効な手段のひとつ

目的に合わせてさまざまな手法を組み合わせる



個人



地域・団体



不特定多数

施策、計画、事業などに関し、あらゆる層の意見・意向を把握することを目指す

アンケート



説明会
意見交換



オンライン
の利用



“ツール”



その他



【今後活用が可能な市のツール】

● さっぽろ圏スマートアプリ



登録者数
約6千人

お知らせ配信やアンケート配信ができるアプリ。まちなかを歩いたり、動画を視聴してもらえるカギを使用して、ポイントが当たる抽選にも参加できる。

● 札幌市公式LINE



登録者数
約18万人

イベントなどのお知らせ情報、災害時など緊急の情報を配信。LINE上でのアンケートや、アンケートフォームのページへの誘導も可能。